新入試スタート、夢をかなえる第一歩！

～ 現役合格、必ず勝ち取ろう！ ～

進路ジャーナル

第 115 号

令和２年12月16日

編集発行

磐城桜が丘高等学校

進路指導部

印刷 ㈱ネクスト情報はましん

一月十六日(土)、十七日(日)に、医療創生大学を会場に大学入学共通テストが行われます。本校からは二五六名が受験を予定しています。今年度は新入試の第一回目となり、これまでとは異なる問題形式が予想されます。また、感染症の関係で、会場での手指消毒・マスク着用が必須となります。三年生にとっては、今年度のうちに進学先を決めたいところですが、そのための第一歩が共通テストになります。まずは健康管理に注意し、努力の成果を余すことなく発揮できるよう、慎重に準備して臨んで下さい。

共通テスト後はすぐに私立大学入試が始まり、国公立大学一般入試前期試験、後期試験と続きます。また、共通テスト終了後は一月十八日（月）が自己採点となります。その後、自己採点結果をもとに国公立大学等への出願を検討することになります。三年生にとっては、辛く苦しい場面が続く人もいるかもしれませんが、三月まであきらめず戦い抜こう！

大学入学共通テストに向けて

共通テスト本番となれば、誰もが緊張し不安になります。だからいつもと違う精神状態でも心配せず、試験会場へ向かおう。緊張や不安を乗り越えた先に合格が待っています。

今回は試験直前のポイントと試験当日の流れをシュミレートしてみました。

試験直前のポイント

①復習重視

新しい問題や過度に難しい問題に取り組まない。この時期は過去の問題を解き直してミスの回避策を頭に定着させよう。

②慣れを作る

当日の交通機関の状況やアクセスルートを把握する。試験当日は、いつもの食事、いつもの道具、いつも通りに家を出よう。特別なことはしない。

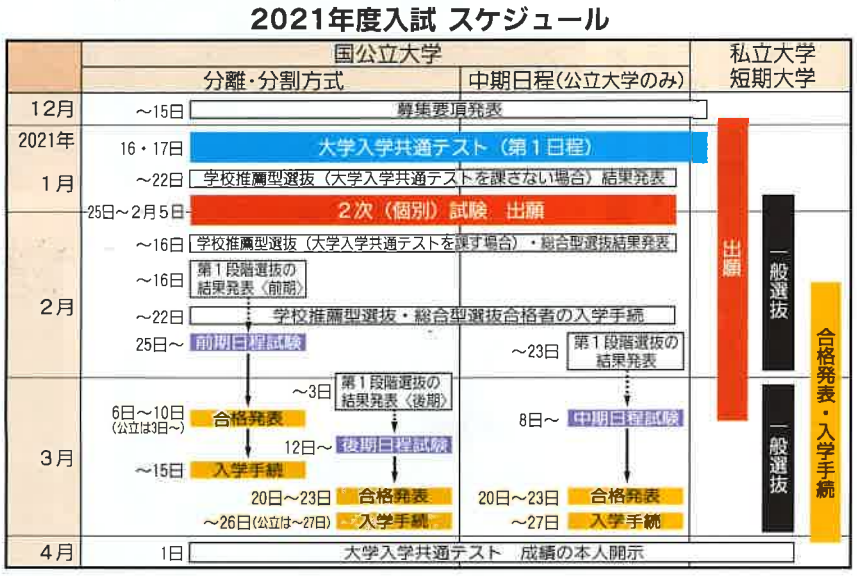
③ルールを決めておく

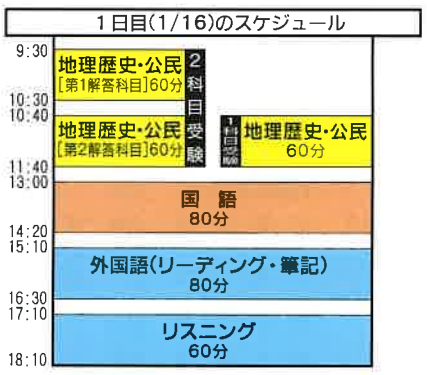
解答順、解けない問題の対処、試験会場で行う復習範囲、休憩時間の使い方などある程度決めておけば試験当日になってあれこれ迷わずにすむ。

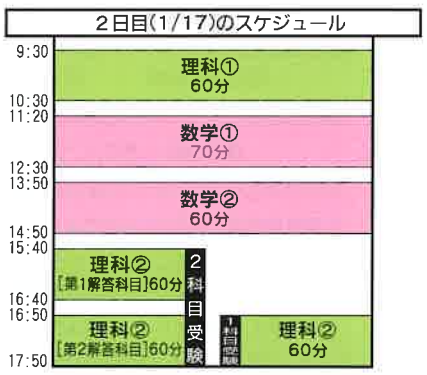
④生活のリズム

風邪など体調不良を防ぐためだけでなく、精神面においても効果的。起床から睡眠の間に行うことを定刻に行い、生活にリズムをつけることで気持ちも落ち着き、頭の冴えも試験時刻に合わせることができる。

2021年度入試 スケジュール







大学入学共通テスト当日の流れ

地歴・公民

- 出願時に登録した科目数を受験する。試験当日に変えることはできない。
- 問題冊子は、地理歴史と公民の二冊が配られる。
- 二科目受験の場合は、まず第一解答科目用紙にマークする。
- 第一解答科目を受験後十分間で解答用紙が回収されて、第二解答科目用紙が配られる。
- この間、退席や参考書等を読むことはできない。
- 十時四十分になり、第二解答科目の解答がスタート(一科目受験者はここからスタート)
- 第二解答科目用紙にマークし終了。

国語

- 読解問題に眠気は禁物。昼食後、リフレッシュして挑みたい。
- 試験では、大問四つを決められた解答時間で解く。
- いきなり書き始めるのでなく、一度問題文全体を見て、傍線の位置やどの段落がどの程度あるかを把握して始めよう。

外国語

- 原則、リーディングとリスニングの双方を受験する。
- 英語リスニングで遅刻は認められない。早めに入室し、試験開始に備えること。
- リスニング試験の進め方やＩＣプレーヤーの操作方法について、事前にあらためて受験案内等でよく確認しておこう。

理科①

- 出願時に登録した科目パターンで受験する。試験当日に変えることはできない。
- 「基礎」を付した科目(物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎)を六十分で必ず二科目受験する。二科目の解答の順序、時間配分は自由。
- 一枚の解答用紙で二科目の解答をマークする。

数学①、数学②

- 問題冊子に注意。誤って数学ⅠA受験者が、数学Ⅰの問題を、数学ⅡB受験者が、数学Ⅱの問題を解き始めないように！
- 毎年、誰かしらがするミスです。冷静に取りかかろう。

理科②

- 出願時に登録した科目数を受験する。試験当日に変えることはできない。
- 基礎以外の科目を二科目あるいは一科目解く。
- 二科目受験の流れは「地歴・公民」と同様。
- 最後まで気を抜かないように。

センター試験レポート

令和元年度卒業生　吉田　栞

最後のセンター試験が一月十八、十九日に行われました。実際に受験し、合格した卒業生が当日の様子についてレポートを寄せてくれました。会場内の様子をつかむ参考にしてください。

朝の様子

私は渋滞を避けるため七時に会場へ行きました。道路も駐車場も空いていてスムーズにつけました。七時四十五分頃になると着々と車が増えていきますが、その場で降りる人がほとんどなのでひどい渋滞は起きていませんでした。八時頃、正門から入ると自然と学校ごとに集まっていました。友達や先生と朝の挨拶をして緊張をほぐします。しばらくして、先生方からお菓子（キットカット&メンタイにカツ！うまい棒）と熱い応援をいただいて、会場に入っていきます。

試験の流れ

中に入ると、まず受験票のチェックがあります。そこを通ると、二号館の人と三号館の人に分かれます。八時三十分頃、自分の試験場に入ります。みんな一言もしゃべらず各自勉強しています。八時五十分、試験官の先生たちが問題を持ってきて、準備を始めます。受験者入室完了時刻の九時五分ちょうどに、試験官からのアナウンスがあります。電子機器について、机上におけるもの、受験番号の確認、写真票の回収を行います。そして不正防止のため「写真用シール」を受験票の写真に貼ります。その後、受験番号・氏名・会場コード・選択科目のマークを試験官の指示に従って記入します。ここまでの流れは全ての試験前に必ず行われます。試験が始まるまで五分ほど静かに待ちます。「解答はじめ」の合図と共に全員一斉に問題用紙を開きます。

試験中は教壇の上と教室の四隅にそれぞれ試験官が座っています。計五人いました。本人確認のために写真票を持った試験官が回ってきます。この時、いくら問題を解きたくても、顔を上げてマスクを取らなければなりません。試験終了十分前にアナウンスが入ります。五分前のアナウンスはないので、自分で時間を確認します。試験終了の合図の後、受験番号などマーク確認がとても念入りに行われます。記入漏れなどがあった際には、手を上げて試験官に見られながら訂正します。

会場の様子

受験者は三人用の机の両端にそれぞれ座ります。机には受験番号と受験場の注意が書かれたシールが貼ってあります。

受けない科目の時は入れないので、席は大量にあっても満席になることはありませんでした。実際、私の受験会場は百二十人用でしたが、ほぼ全員そろったのは国語と外国語の試験だけでした。二日目の理科、数学は二十人ほどしかいませんでした。

休憩時間は学校の休み時間のような感じで、少し騒がしかったです。勉強する人もいますが、ほとんどの人が談笑したり、トイレに行ったりしています。トイレは男子も女子も混みます。お昼休みも同じ感じです。自由なので、昼ご飯を自分の試験会場と違う会場で食べている人も多かったです。

試験場はエアコンがついていますが、少し寒いです。少なくとも、廊下はものすごく寒いので、カイロは必須だなと感じました。また、朝の時間や休憩時間は結構あるので、何を使ってどんな勉強をするのかあらかじめ決めておくべきだったと後悔しています。

帰りの様子

最後の試験が終わり、記入漏れのチェックを入念にした後は、各自解散です。

一日目の最後は外国語で、全員一斉に終わったこともあり、渋滞がひどかったです。一方、二日目は理科、数ⅠAなどばらばらだったので、とても空いていました。

大きな事件事故もなく、無事にセンター試験を終えることができました。

大学入学共通テストに向けて

進路指導主事　猪　茂　男

今年はコロナ禍の影響で、大学受験の様相もずいぶんと変わってきている。学校推薦型選抜では現地に赴いて受けるはずだった面接や小論文を、オンライン面接や課題小論文の提出という形に変更する大学が増えている。また、従来は一般選抜で主流だったネット出願を、今年度は学校推薦型選抜でも要求するところが多く、各家庭でのパソコン環境設定が必要となってきている。大学進学後は、論文作成や研究にパソコンは不可欠となる為、早い段階での準備をお勧めしたい。

新入試制度の目玉として検討された記述式問題の導入や英語の民間試験活用が、次々に見送られるという紆余曲折のあった初めての大学入学共通テストがいよいよ行われる。全国では五三五、二四四人の出願であり、前年度より二二、四五五人の減少となった。現役生八十四%、浪人生十六%の割合である。第一日程として、いわき地区では一月十六日（土）・十七日（日）に医療創生大学で実施される。新型コロナの影響で第二日程の一月三十日（土）・三十一日（日）が設けられたが、いわき地区では全員が第一日程での出願となり、全国でも第二日程の出願はわずか〇・一五%に留まった。また、疾病や負傷等やむを得ない事情により第一日程を受験できなかった者に対して、第二日程での受験が可能となるが、県内では福島大学と会津大学の二会場のみとなった。是非、第一日程のいわき地区会場で受験できるように体調管理に十分留意してほしい。

今回のコロナ禍でのテストでは、いろいろな感染症対策がとられることになっている。**発熱・咳等の有無にかかわらず試験場内では、昼食時を除きマスクの着用が義務づけられた。**また、休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話を極力控えるように要請されている。マスクを付けると息苦しさから思考力の低下が心配される為、今の段階からマスクに慣れておくことも必要である。

共通テストの問題作成の方針に関しては、「大学入学共通テストでは、知識・技能を十分有しているかの評価も行いつつ、思考力・判断力・表現力を中心に評価を行う」となっている。高等学校教育を通じて育まれた十分な知識・技能を前提としつつ、大学教育を受けるために必要な能力について把握することが目的である。これがなかなか厄介である。今までのセンター試験のように高等学校の学習到達度を測る試験とは異なり、さらに思考力・判断力・表現力を測るために、ある程度の文章を読む力、読み取ったものを生かして考える力、圧倒的な情報量を的確に処理する力が求められることになる。

また、「数学Ⅰ・A」の試験時間が六十分から七十分へと変更になり、英語の「筆記」が「リーディング」に変更され読むことが重視されるようになった。「リスニング」の問題音声が二回読みだけでなく、一回読みも出題されるようになり、「リーディング」と「リスニング」の配点は各二〇〇点ではあるが、大学によって配点比率が違うのでよく調べておくことが重要となる。理科の選択問題はなくなり全問必答になる。いろいろな変更点があり、当然、そのための対策が不可欠である。各教科での問題演習を通して傾向を掴み、柔軟に対処してほしい。

今年度、本校から初めての共通テストに挑むのは二五六名、三年生の実に九十二%が冬の陣に臨むことになる。これまで日々の学習に励んできた結果を、当日には存分に発揮してもらいたいと心から願っている。

共通テスト当日まで一ヶ月を切った今、新しいものに手を出す時期ではない。課外や授業で配られたテキストやプリント、問題集、参考書、受験した模試のストックを再確認すれば、十分な成果が得られるはずである。

現役生は受験当日まで伸びる！　君たちの健闘に期待する。